

(ウ) 女性の活躍の場の拡大

これまでの取り組みとその成果

見えてきた課題

さらなる挑戦

① 家庭における男女共同参画の推進

② 地域における子育て支援の充実

- ① **男女共同参画センターソールにおける広報・啓発の強化**
 ・男性対象講座、講演会、情報誌、メルマガ等による啓発
 ⇒ 男女共同参画関連講座への男性参加者数
 H27：221人→H30：240人（目標R元：400人）**表1**
 ・男女共同参画推進月間講演会
 ⇒ H27：69人→H30：229人
 ・男性の家事・育児・介護参画に関する啓発ポスター等の掲示
- ② **男性の家事・育児等への参画促進**
 ・情報誌、メルマガ、チラシ等による啓発
 ・おとう飯キャンペーン等による男性の家事育児等への参画意識の醸成
 ⇒ H27：10人（家事講座）→H30：24人（レシピコンテスト）

- ① **男女共同参画センターソールにおける広報・啓発の強化**
 ・SNS、情報誌等による広報が固定化（フォロワー数が一定、情報誌の配布先が同じ）し、対象範囲が増えていない
 ・新たなターゲットによる講座参加者の確保が必要
- ② **男性の家事・育児等への参画促進**
 ・家事・育児参画への意識の醸成は進みつつあるが、実際の行動になかなかつなげられていない **表2**

- I 男女共同参画センターソールにおける広報・啓発の強化**
 ・情報誌の配布先増加及びフェイスブックの新たな拡散方法の検討
 ・経済団体等が行う研修等と連携した講座実施の検討
 ・大学等と連携した講座の実施
- II 男性の家事・育児等への参画促進**
 ・男性の家事・育児参画を後押しする広報啓発及び講座（実習）等の検討

- ① **ファミリー・サポート・センター事業の充実**
- (1) **新たなセンターを開設する**
 ・高知版ファミリー・サポート・センター運営費補助金による支援
 ・市町村訪問による開設の働きかけ、ファミサポ開設に向けた市町村との協議
 ⇒ 実施市町村数 H26：1市 → R元.7：10市町（目標R元：13市町）
- (2) **会員を増やす** **表3・4・5**
 ・子育て支援員研修（ファミリー・サポート・センターコース）の開催
 ・子育てイベントでのPR、啓発リーフレットの作成・配布、県広報媒体による広報
 ⇒ 子育て支援員研修受講者数 H28～H30（累計）：89人
- ② **多機能型保育事業の推進** [再掲]
- ③ **放課後の子どもの居場所づくりと学びの場の充実** [再掲]

- ① **ファミリー・サポート・センター事業の充実**
- (1) **新たなセンターを開設する**
 ・ニーズが顕在化しておらず、市町村において事業実施に踏み切れない
- (2) **会員を増やす** **表6**
 ・設置市町村は増えたが、県民ニーズに十分対応できていない
 ・ファミサポの認知度は決して高くなく、必要としている方に**知ってもらうための周知**が必要
 ・会員の確保が必要だが、特に**提供会員側に預かりに対する不安感が先行**している
 ・子どもが病気になったときの支援を求める保護者が多いことから、**病児・病後児を預かる仕組み**が必要
 ・**居住地以外のセンター利用を望む声**がある(現状:設置市町村在住者のみ利用可。四万十市のみ在宅勤務者も受け入れ)

- III ファミリー・サポート・センター事業の充実**
- (1) **新たなセンターを開設する**
 ・県民への制度周知による住民ニーズの掘り起こし
 ・未実施市町村への訪問による働きかけ、補助金内容の周知
- (2) **会員を増やす**
 ・イベント出展やCM放送、県及び市町村の広報媒体によるPR
 ・実際の援助活動の様子を掲載した**啓発冊子の作成・配布**及びDVDの貸し出しにより、**預かりに対する不安を払拭**する
 ・れんけいこうちの講習会の広域受講に向けた取組を支援し、研修の機会の拡大を図る
 ・保育所・幼稚園や企業等と連携した制度の周知
 ・**病児・病後児預かり**の事業を開始した**四万十市のPR、事例共有**
 ・センター設置市町村の在住者以外も受け入れる、**広域利用**(※)を実施する**市町村の増加**を目指した補助金メニュー等の検討
- (※) 勤務先のある市町村や、休日に居住地以外の市町村で用事があるときなどに利用できるようになる。

[表1] 男女共同参画関連講座への男性参加者数

	H26	H27	H28	H29	H30
主催講座	275	221	350	240	240
出前講座	-	767	904	1,131	1,840

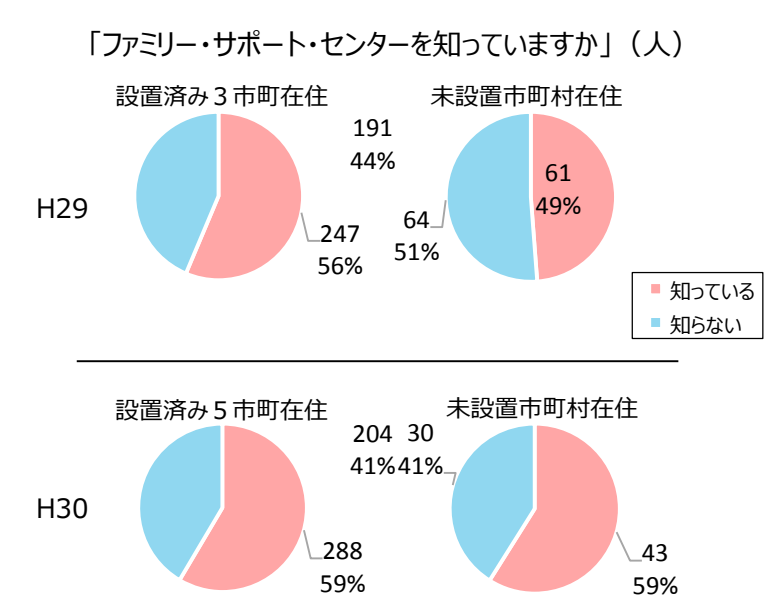
[表3] ファミサポ設置市町村数

H26	H27	H28	H29	H30	R元.7
1市	2市町	3市町	5市町	8市町	10市町

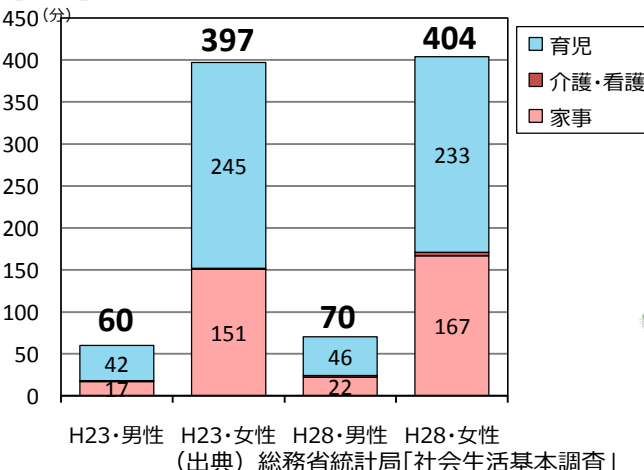
[表5] ファミサポ設置市町村 会員数・活動件数 (H31.3月末)

	会員数 (人)				活動件数 (件)	開設時期
	依頼	提供	両方	合計		
1 高知市	794	430	61	1,285	6,456	H16.10
2 佐川町	50	51	0	101	652	H28.2
3 香南市	45	28	1	74	250	H28.11
4 南国市	53	20	7	80	159	H29.10
5 安芸市	26	18	5	49	10	H29.12
6 香美市	16	18	7	41	138	H30.8
7 いの町	71	35	5	111	39	H30.10
8 須崎市	2	3	0	5	0	H31.3
9 仁淀川町	8	15	1	24	0	H31.4
10 四万十市	10	16	8	34	0	R元.7
11 四万十町	R元年度中に開設予定					
12 大月町	R2年度中に開設予定					

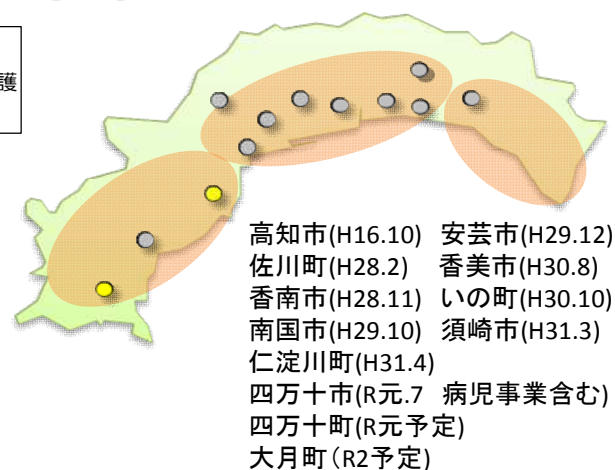
[表6] ファミサポの認知度



[表2] 6歳未満の子どもがいる世帯の家事等労働時間



[表4] ファミサポ設置市町村



※仁淀川町はH31.4月末、四万十市はR元.6月末時点の実績

(ウ) 女性の活躍の場の拡大

これまでの取り組みとその成果

見えてきた課題

さらなる挑戦

③多様なニーズに応じた就労支援

④男女がともに働きやすい職場づくり

①高知家の女性しごと応援室によるきめ細かな就労支援

- 相談者一人ひとりに寄り添ったきめ細かな相談対応
⇒ 3か月以内に就職を希望する相談者の就職率 表1・2
H26:45.8% ⇒ R元.6末: 65.5% (目標R元: 65%)
- 女性が働きやすい職場づくりや雇用の定着を目的とする企業支援の実施
⇒ 働きやすい職場づくりに向けた企業へのアドバイス (H30~)
H30:35事業所、45件

②福祉人材センター・福祉研修センターにおける介護・福祉職場への就労支援

- 福祉人材センターへの登録
⇒ 新規求職者 H27: 1,114人 → H30: 695人
- 福祉人材センターでのマッチング
⇒ 就職者数 H27: 340人 → H30: 361人

③運輸業における女性の就労支援

- 平成30年度に関係団体と実行委員会を立ち上げ、取り組みを開始
ホームページやSNS、運転体験イベント等を通じて運輸業の魅力を発信

①経済団体と連携した女性の登用促進

- 男女がともに働きやすい職場づくりセミナーの開催 (通年・4回)
⇒ セミナー参加者数 H27: 299人(計6回) → H30: 112人 (計4回)

②ワークライフバランス推進企業認証制度の普及拡大

- アドバイザーによる企業訪問
413件(H30: 329件 R元6月末: 84件)
⇒ 新規認証企業数 H27: 148件 → R元.7.1現在: 235件 表3
- 労働局から提供を受けた一般事業主行動計画の策定企業をアプローチ先に追加(R元6月)
- 女性活躍推進法に定める事業主行動計画策定企業数(常時雇用労働者300人以下の企業) R元6月末: 15社

③民間企業等におけるワーク・ライフ・バランスの推進【再掲】

④職場における女性リーダーの育成

- 女性リーダー応援塾の実施 (全3回)
⇒ セミナー参加者数 H29: 37名 → H30: 96人

⑤女性農業者の活躍促進

- 女性農業者を対象に栽培技術や経営管理能力の向上と、世代や組織を超えた交流の場として、農業講座「はちきん農業大学」を開催
⇒ 受講生 H29: - → R元: 212人
⇒ 開催講座・先進事例調査 H29: - → R元: 295回
⇒ 経営改善目標達成割合 H29: - → R元: 100%

①高知家の女性しごと応援室によるきめ細かな就労支援

- 相談者のニーズに合った求人、働きやすい職場が少ない
- 潜在的な女性求職者の掘り起こしが必要
- 応援室の認知度はまだ決して高くない

②福祉人材センター・福祉研修センターにおける介護・福祉職場への就労支援

- マッチングによる就職者数は増加しているものの、新規求職者の登録人数は減少しており、求職者の掘り起こしの強化が必要

③運輸業における女性の就労支援

- 運輸業に興味のある女性は少なく、家族等周囲を巻き込んだ意識改革が必要

①経済団体と連携した女性の登用促進

- 対象者が限られるようなセミナーにおいて、一通りの企業が参加済みで、参加者数が伸びていない

②ワークライフバランス推進企業認証制度の普及拡大

- 認証及び更新の事務手続の重い負担感
- 新規認証企業数の増加に向けた戦略的な訪問活動
- 企業が行動計画を策定するメリットへの理解不足

④職場における女性リーダーの育成

- 経済団体等との連携による情報発信及び参加者(次世代リーダー)の確保

⑤女性農業者の活躍促進

- 女性農業者のニーズや県政策に沿った講座のテーマや開催方法の検討
- 女性が働きやすい環境整備に向けた検討

I 高知家の女性しごと応援室によるきめ細かな就労支援と働きやすい企業の増加

- 企業個別訪問による、蓄積されたニーズを活かした求人開拓、働きやすい職場づくりに向けた企業支援 (H30開始)の強化
- 幅広い年齢層を対象とした女性求職者の掘り起こしに向けた取組の推進
- ホームページへの検索機能等の追加、インターネット広告の実施によるホームページやSNSへの誘導及びアクセス分析

II 福祉人材センター・福祉研修センターにおける介護・福祉職場への就労支援

- 福祉人材センターと関係機関の連携によるマッチングの推進
- 多様な働き方を可能とする職場づくり(求職者の掘り起こしのための広報強化や、マッチングへの支援の実施)

III 運輸業における女性の就労支援

- 関係機関と連携した取り組みを推進

IV 経済団体と連携した女性の登用促進

- 女性の登用促進につながる企業への効果的なアプローチ方法の検討

V ワークライフバランス推進認証企業数の増加

- 認証及び更新の事務手続のさらなる簡素化により負担軽減を図り、新規認証に向けた企業訪問を戦略的に展開するとともに、企業への取得促進を図ることとする。
- 認証に向けた支援と連動した一般事業主行動計画の策定に向けた支援

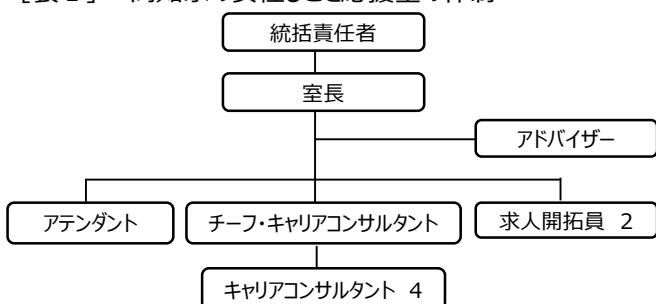
VI 職場における女性リーダーの育成

- 受講生に対するフォローアップ研修等の実施検討

VII 女性農業者の活躍促進

- 経営感覚に優れた女性農業者や次代のリーダー育成を目的とした支援を継続

[表1] 高知家の女性しごと応援室の体制



[表2] 高知家の女性しごと応援室の実績(R元.6末)

	開室日数	新規相談者数	相談件数	就職者数	求人基本契約社数	求人票受理件数	企業訪問件数	就職率(※)
H26	152日	196人	526件	44人	-	-	-	45.8%
H27	196日	484人	1,344件	138人	82社	1,151件	683件	49.2%
H28	193日	427人	1,238件	165人	30社	1,543件	571件	58.5%
H29	196日	396人	1,363件	160人	25社	2,514件	504件	62.5%
H30	191日	459人	1,504件	161人	28社	2,564件	811件	65.5%
R元	47日	115人	358件	33人	8社	517件	258件	65.5%
計	975日	2,077人	6,333件	701人	173社	8,289件	2,827件	-

(※)3ヶ月以内に就職を希望する相談者の就職率

[表3] ワークライフバランス推進認証企業数(R元.7.1現在)

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元
累計	22	36	51	64	88	92	109	122	148	173	193	219	235
新規	22	14	15	14	27	18	18	19	27	26	22	26	17
更新	0	0	0	16	9	12	28	28	27	46	26	54	21